

有縁の皆さんでお読み下さい

日々鍛錬し いつ来るかわからぬ 機会に備えよ 伴 虚無蔵

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

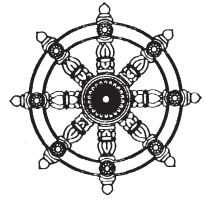
お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光

No.312



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

親鸞聖人 ^{しゅうそごうたんえ} 宗祖降誕会 5月28日(土)
 お誕生のご縁 宗祖降誕会 10:00~12:00
 (お子様の初参式) 13:30~16:00

宗祖親鸞聖人がお生まれになった日は、私たち真宗門徒にとってかけがえのない日。一人でも多くの皆様とお祝いいたしましょう。午後の法要の初めには、ご門徒のご家庭にお生まれになったお子様の、純正寺への初参り「初参式」も行います。ご希望の方は、所定の用紙でお申し込みください。詳細は、住職までお尋ねください。

勤行(お勤め)

法話

純正寺衆徒(純正寺所属布教使)

『正信偈和讃(行譜)』美馬裕美師

※本堂では、できる限りの感染対策はしていますが、発熱・咳など体調がすぐれない場合は無理をせず、参拝はお控えください。

YouTube 純正寺チャンネル LINE 純正寺公式アカウント



QRコードリーダーで読み込んでください。

5月25日(水)

10:00~12:00.13:30~15:30

こんき常例布教

法話：願證寺 本多昌道師

純正寺の法要は「YouTube」「LINE LIVE」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

住職法話 我聞如是

われかくのごとくきく

お浄土をいのちの行方といただいて

く悲しみの中で母から教わったことく

明日ありと

今年の彦根城の桜も、沢山の人たちに見守られながら見事に咲きました。四月の第二土日の週末には、満開の桜でしかもお天気も青空。彦根城を訪れた観光客の多さには、コロナなどどこ吹く風といった様子でした。でも、その後すぐに散り始めた花びらは、次の週末にはもうお堀の水に溶けて茶色くなり、一面の葉桜となっていました。

親鸞聖人がお詠みになつたと伝えられる和歌に「明日ありと思う心のあだ桜、夜半(よわ)に嵐の吹かぬものかは」という歌があります。聖人が九歳の時、仏門に入られる決心をされ天台座主である慈円和尚を訪ねましたが、すでに夜だったので、「明日の朝になったら得度の式をしてあげましょう」と言われました。しかし、聖人は「明日まで待てません」とおっしゃられ、その時詠まれたのがこの歌だと伝わっています。

この歌の意味は、「今美しく咲いている桜を、明日も見る事ができるだろうと安心して見ると、夜半に強い風が吹いて散ってしまうかもしれない」ということですが、親鸞聖人は、自分の命を桜の花に喩え、「明日自分の命があるかどうか分からない、だからこそ今を精一杯大事に生きていきたい」との思いが込められています。

いのちの行方

今日が私の命の最後の日かもしれない。そう思うことは、容易なことではありません。誰しも、明日も明後日もずっと生き続けたいと願っているからです。しかし、すべての人が自分の命の最後の日を迎えなければならぬのも事実です。自分の死に向き合い受け止めて生きる。そのために必要なことが、自分の「いのちの行方」を学ぶということとです。

本願寺の第八代のご住職である蓮如上人が、当時のご門徒に宛てて書かれたお手紙『ご文章』の中に、「八万の法蔵章」と呼ばれるお手紙には「それ八万の法蔵を知るといふとも、後世を知らざる人を愚者とす。たとひ一文不知の尼入道なりといふとも、後世を知るを智者とすといへり」とあります。このご文章は、もし世界中のお経を読み知っている人がいて、でもその人が自分のいのちの行方を知らないならば、その人は「愚か者」と呼ばざるを得ない。逆に、一文字の読み書きもできない人がいて、でもその人が自分のいのちの行方をお浄土であると知ってい

るならば、その人は「智慧者」と呼ぶに値するのです、
 と言いついでておられるので
 す。

虚しく過ぎるいのち

自分の「死」について考
 えられないようにして生きるこ
 とが「前向きな生き方」だ
 と、多くの人が考えている
 現代日本人。だから、死の
 意味やいのちの行方などに
 は関心も持ちません。しか
 し、そのまま生きると、や
 がてお金やものでは解決不
 可能な、大きな苦しみを味
 わうことになります。

かった人のいのちの終わりの
 間際に、死に対する強い
 恐怖と不安が襲ってきて強
 く苦しまれる姿を見てきま
 した。何故そうなるのか。
 それは、自分の死の意味も
 知らず、いのちの確かな行
 方にも出会えていないから
 です。そして、一度そうなっ
 てしまうと、どのような言
 葉をかけても、多くの人に
 はもうその苦しみを取り除
 くことが困難になります。
 普段から、自分の死に向き
 合い、死の意味を学び、い
 のちの行方を知っているこ
 と。このこと以上に、人と
 して生きる上で大切なこと
 はないのです。

生きざまから学ぶ

去る四月四日、私の母（正
 確には坊守の実母）が八十一
 歳のいのちを終えて、阿弥陀
 仏のお浄土に往生いたしました。
 血のつながりこそありま
 せんが、私たちの結婚以来凡
 そ三十年間、私たち夫婦や孫
 やひ孫をいのち一杯に育んで
 くれた、私にとって二人目の
 実母です。

純正寺にお参りくださる多
 くの方が「お内陣のお花がい
 つも賑やかで綺麗ですね」と
 褒めてくださいました。それ
 は、この母がいつもお内陣を
 飾る為に畑で年中お花を育て
 ていてくれたおかげです。

しかし、同時にこの三十
 年間、母はいくつもの病気の
 治療に費やしていました。
 世間では、このような状態
 を「闘病生活」と言うので

しょうが、母にはこの言葉は
 適切ではなく、母の病との
 日々はいわば「共病生活」と
 呼ぶべき日々でした。病をい
 のちの当たり前の事実だと
 受け止めて、病のままで平気
 に生きる。最後は、厳しいガ
 ンとの日々でしたが、その中
 にはいつも後まわしにして、残
 していく子や孫やひ孫のこ
 とを心配し、励ます日々を生
 き切っていました。そんな
 母の生きざまは、お浄土をい
 のちの行方といただいて、お
 念仏の中で生きる人にしか
 できない生きざまでした。

「死んだらおしまい」の人
 生ではなく、いのちの行方を
 お浄土といたたく人生の尊
 さを、悲しみの中で母は教え
 てくれました。

今月のエコキャップ 一、四五四、六三三個

純正寺周辺の道路工事による通行止が解除された為か、四月は八八〇〇個のキャップが集まりました。



純正寺5月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

1日(日)・22日(日)
16:00~18:00
小学生・中学生対象
教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。手洗い・マスクを忘れずに。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

8日(日)・29日(日)
16:00~18:00
就学前・小・中学生対象
『らいはいのうた』のお勤めをした後、住職が仏典童話の読み聞かせをします。

世のなか安穏なれ「ビハラー彦根」

8日(日)
18:00~20:00
年齢・性別は問いません
大慈悲に如何に生きるか。今月も、参加者からの問題提起からの自由テーマでの話し合い。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

10日(火)・24日(火)
10:20~11:30
年齢・性別は問いません
お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかかな身体と心を作りましょう。

みんなの食堂ビハラー

12日(木)・26日(木)
17:00~19:00
年齢・性別は問いません
今月も、感染対策を万全にしつつ、本堂での会食を中心に、みんなで食べる楽しいひと時を計画しています。

法義示談「月例法話会」

19日(木)
14:00~16:00
年齢・性別は問いません
参拝者の提起や質問を手掛かりに、車座になって話し合いながら、仏法に聞きます。

こんき常例布教

25日(月)
10:00~12:00.13:30~15:30
年齢・性別などは問いません
所属寺の枠を超えての朋友ができる法座。ご法話は、近江八幡市沖島願證寺ご住職の本多昌道師です。

親鸞聖人ご降誕の縁「降誕会」

28日(土)
10:00~12:00.13:30~16:00
年齢性別などは問いません
親鸞聖人のご生誕記念のご法縁。ご法話は、純正寺所属布教使の美馬裕美師です。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:45
年齢・性別など問いません
『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。LINELIVEで生配信もします。

ウクライナからの難民支援にご協力ください
ロシアによるウクライナへの武力侵攻が続く中、日本にもそして滋賀県や彦根市にも避難してこられた人たちがおられます。避難生活は長期化が予想され、就労支援なども行われています。そんなウクライナの人々を支援する滋賀県の事業「しがウクライナ避難民応援支援金」に、純正寺も協力いたします。
本堂に、募金箱を設置しておりますので、ご門徒の皆様のご協力をどうぞよろしくお願ひします。

ご往生
四月八日往生
法名 釋清真
俗名 森野アヤ子さん
行年 百歳
お話がとてもお好き
な方でした。謹んで、
お念仏申し上げます。